

# 大東亞戰爭必勝完遂

## 幼児の母



昭和十七年

十二月

### 幼稚園から

大東亞戰爭下といふ、こんな大きな時代に幼稚園時代を送ることは、お子さん的一生にとって、どんなに意義の深いことでありませう。その幼稚園の記念にお子さんの

本年ももう幾日。思へば大きな一年でした。大きな戦争、大きな建設。それが皆、何んといふ有り難いことつゞきでせう。いつもは、今年も無事に過ぎてと。いつも御無事でとかいふ挨拶が言はれる歳の暮ですが、本年の歳暮は、そんなことは言ひません。無事どころか、有事も有事、こんな大きな多事な年があつたでせうか。しかもその有事多事が、みんな有り難い結果ばかりなのです。考へて見れば、數へて見れば、ほんたうに有り難い年でした。

こんなに國のお蔭を有り難いと思ひ、國の力を有り難いと感じたことは滅多にありません。その絶大な感謝の中に、一切の個人的得失勝手は埋没されて仕舞つてゐます。この無限の感謝の中に、一切の個人的幸福も生かされてみます。

眞の感謝から生れるものは、感激に充ちた勇氣、責任を感じる心です。子どもらに、本年の感謝をよく感じさせ、新らしい年の勇氣と責任とを強く起させませう。小さなお歳暮でも喜ぶ子どもです。こんな大きなお歳暮をいたゞいて、きつとよい子にならすにゐないでせう。

感謝に暮れる年。力の盛りあがる新らしい年。

○暮の幾日、おやすみの間にも、何んなに大きなニュースがあるかも知れません。幼稚園のある時には、きつとよく話してあげてゐます。おやすみ中は、それをお母さまにお譲りします。さうして、一月からまた始まる幼稚園の戦争のお話につゞくやうにしていたゞきます。地理がよく分つても分らないでも、こゝへと地図の上に實感

を補つて。